

病児保育奮闘記

(12)

子どもサポート H&K
大石 仁美

子育て相談

時々、卒園した懐かしい方から、相談電話が入ることがあります。どうしていいか分からなくなり、子育てに行き詰った時、ふと思い出してもらえるのは、やはり嬉しいものです。

赤ちゃんの時から、自分の子どもを知ってくれているという思いが、安心感につながるのでしょうか。それにどこにも属していない民間の、子育て経験豊かな？おばあちゃんというのも良いのかもしれません。

利用者は、ハイソサエティの方が多く、世間体もあるでしょうし、なかなか公的相談機関には行きにくいということもあると思います。

お母さん方は、教養があり礼儀正しく、とても素直な、いかにもお嬢様育ちと思われる方々が多く、私とは育った環境が違いすぎると感じることも多々ありますが、はじめての子育てで戸惑うのは、誰も同じ。臆せずに感じたままをお話するようにしています。

財布のお金が・・・??

A 子ちゃんのお母さんからの相談は、次のようなものでした。

「以前から財布からお金が抜き取られていたようなのですが、少額だったせいか気づきませんでした。ある日、パパが出張で新幹線に乗っていた時、財布に入れたはずのお金がなくなっていることに気付いたのです。とっさに、すられた！と思ったようなのですが、冷静に考えてみると、財布の中身だけがなくなるのは変だということで、家に帰ってから子どもたちを問い詰め、同時に子ども部屋を点検したところ、A 子ちゃんだということが判明したのです。

きつく叱り、本人も謝って一件落ち着いたかと思ったのですが、その後も抜き取りは続き、パパが疲れてうたた寝をしていた折、ズボンのポケットに入れておいた万札が数枚なくなると気づいた時にはパパの激怒は頂点に達し、あの子の脳には欠陥があるにちがいない。精密検査が必要だということまで言いだし、母親の自分もどうしていいか分からず、おろおろする毎日です。本人は謝るけれど、本当に悪いと思っていないのか、ばれた翌日にまたやってしまうのです。これは病気なん

でしょうか？

今は家の中だけで済んでいます、もし外でやるようになったら大変なこと。物欲が強いのかというところも、欲しいものは特にないというのです。マンガ本やゲームの類が増えているのは確かなのですが、どうしても欲しかったというわけではないようで、どう考えたらいいのか、本当に困っています。

A 子ちゃんは小学 5 年生。三人兄弟の末っ子で御茶目で個性的な女の子。(大学生の兄の評価) 学校の成績は悪いけれど、それでも学校は楽しらしく、休むこともなく元気に通っています。友達も多く、クラスでは人気者で、よく家に遊びに来る子たちは 5~6 人いて、良い子たちなのでその点では安心してはいます。

母親からの情報はこの程度ですが、さてどうしたものか、

脳に欠陥があるかもと考えるに至った理由はなんど叱っても盗みが止まらないということ以外に、授業参観に行った折、ポ〜ッとしていてなんにもわかっていないという実態を見て、そのことも加わったことでした。

でも保育園時代の彼女は、のんびりしてはいるけれど、ごく普通の女の子。問題があるとは思いませんでした。

- ① 本当に友達関係はいいのだろうか。いじめはないのだろうか。
- ② 父子関係はどうなのだろう。万札を抜き取るのは父親の財布からなので、厳しいという父親への、形を変えた反抗とも考えられないだろうか。
- ③ 勉強がわからないことへのストレスも大きいかも。
- ④ おこずかいはどうしているのだろうか。

お母さんにアドバイスが出来るかどうか、自信が

ないまま、とりあえず本人に会ってみることにしました。

A 子ちゃんとの面接

お母さんに連れられてやってきた A 子ちゃん。ほう、こんなに大きくなったのかと目を見張るほどの、大柄な女の子。浅黒い肌でやや小太り。ほとんど目をあわそうとしないまま、早口でしゃべり、目をキョロキョロさせて落ち着かない様子。お母さんには席をはずしていただいて、彼女の話をもとめると次のようなものでした。

「お父さんは仕事が忙しくて夜は帰りが遅く、会うと怒られることが多くて、怖いんです。甘えたことがありません。

この間は、勉強したか？予習、復習はちゃんとしたか？というので、終わったよと答えると、お前には勉強に終わりはないといわれました。

お母さんはやさしくて、お父さんが怒っている時も助けてくれます。でもそれがもとでいつも夫婦喧嘩です。

勉強は算数と社会がきらい。でも、国語と美術体育は好きです。特に本を読むのが好き。一人で静かに読むときが楽しい。ミステリー、オカルト、ファンタジーなど、空想するのが好きで、例えば、猫がでてくると、こんなかわいい猫になって、塀をよじ登ったり、爪を立ててみたり、好き勝手に寝転んでみたりする自分を想像する。そんな時間が楽しいです。

学校は楽しいです。お友達がたくさんいるから。いつも仲良くしている人は 6 人だけど、他のクラスの人とも全員と言葉を交わしたことがあり、みんな友達です。

欲しいものは、さほどありません。例えば今欲しいと思うものがあっても、しばらくすると他のものに関心が移るので、今欲しいと思ってもそれを手に入れようとは思わない。結局、要らないも

のになってしまうので。
お金も別にそんなに欲しいとは思いません。」

やっぱり箱庭

A 子ちゃんには日を改めて箱庭をしてもらいました。その完成を見た時の驚きとうれしさ。私の不安はいっぺんに吹き飛んでしまいました。そこにははっきりと答えが出ていたからです。こんなことは初めてです。たった一回で、こんなにもきれいに現状がみえるとは思ってもみませんでした。



線路の上を汽車が走っています。馬たちが線路の周りに集まり、汽車の窓から投げられる餌を待っているのです。餌はすなわち現金です。

どうやら彼女は、お金や品物をばらまいているようです。

「他のクラスの子とも全員言葉を交わし、みんな友達」 普通そんなことはありません。

みんな友達ということは、裏を返せば本当の友達はだれもいないということ？もしかしたらいじめ？

不思議に思い気がかりだったことの謎がこれで分かり、すっきりしました。



こわい猛獣は檻に閉じ込めました。

自分のじゃまをするうるさい人たち、お父さん、もしかしたらお兄ちゃんも入っているかも知れません。そして檻の前に座って彼らを眺められるようベンチをおきました。これで罪悪感がないこともはっきりしました。

奥のテーブルやティセット、芝生の庭は彼女の空想の世界。ここで楽しい夢をみるのでしょう。



「線路はここで行き止まり。」そう言って砂をかけて先端を埋め、さらに「止め」を明確にするために、障害物をおきました。これが嬉しいですね。彼女はいずれ止めることを予告しているようです。

ああ、よかった！これでお母さんを安心させてあげられる。数日後、連絡をとりお母さんに来て頂きました。

私からのアドバイス

1. 今後お金は盗られないように、盗らさないように、親がきちんと金銭管理をすること。これを機会に、その都度買い与えるのではなく、こづかい制にして、お金の大切さを考えさせてください。
2. 子どもが「盗っていない」と言った時、怪しいと思っても問い詰めないで、時には騙されてやることも必要かもしれません。
3. 今以上に話をよく聞くよう気遣ってください。学校の友達のこと、先生のこと、読んでいる本のこと。楽しかったこと、つらかったこと、困ったこと、感動したこと etc.
4. 成績をよくしようなど、現時点で望まないでください。
5. 休日は男どもをほっておいて、女同士で楽しいことをして過ごしましょう。行きたいところに行き、美味しいものを食べ、おしゃれをして、いっぱいおしゃべりしましょう。
いまは、楽しいことをたくさん経験することが何より大切だと思います。現実の世界で楽しいことが沢山あれば、授業中にぼんやり空想していることも減るかもしれません。

「A 子ちゃんはお母さんが大好きで、お母さんを信頼しています。それに本人が、いずれ止めると意思表示をしていますので、大丈夫！！そのうち終息すると思いますよ。」

お母さんは安心したのか、パッと表情が輝いて、嬉しそうに帰って行かれました。
来春、新学期が始まる前にもう一度お会いすることにしています。